



多久市立 東原摩舎 (とうげんしょうしゃ) 中央校 (義務教育学校)

おへそ

学校便り No. 6 令和5年7月20日

夢に向かって生き生きと輝く児童生徒の育成

—地域と共に伸びゆく中央校をつくろう—

【学校訓】 希望・自覚・鍛錬・恕 文責 校長 田代豊樹

本日終業式、明日から夏休み

本日、1学期の終業式を迎えました。子どもたちは元気にそして健やかに毎日を過ごし、学習や行事等において努力を積み重ね成長しました。また、保護者・地域の皆様には、本校の教育活動の充実のために、さまざまな面でご協力とご支援をいただきました。心より感謝を申し上げます。

私は、年度初めの始業式で、子どもたちに、「自分の将来の夢や希望をもち、毎日楽しく学び成長してほしい。」という言葉をかけています。この1学期、どの子も精一杯に学び成長してきました。まずは、子どもたちの頑張りを認め励ましてあげたいです。1学期の締めくくりにあたり、保護者の皆様からも子どもたちへ、賞賛と励ましの言葉をかけてあげてください。

また、子どもたちには、この1学期の自分の生活を振り返り、自分で成長できたところや努力が足りなかったところ等確かめて、また次のステップに生かしてほしいです。

いよいよ、明日から35日間の長い夏休みに入ります。まずは、健康・安全に気をつけて過ごすことが大切です。そして、せっかくの長い夏休みです。だらだらと過ごすのはもったいないです。規則正しい生活を心がけながらも、夏休みだからこそできることに挑戦してほしいと思います。心身ともに一回り大きくなって、2学期の始業日(8月25日(金))に、元気に登校してくれることを願っています。

脱コロナへ！

ここ数年間は、コロナウイルス感染の影響で、学校の教育活動は大きな制限を受けてきました。学校は、子どもたちにとって先生や友達、その他多くの人と関わりながら学び成長する場です。子どもたちは、人との関りを通して社会性を身につけ成長していきます。コロナの影響で人との関りが制限され成長期にある子どもたちにとっては、社会性や心の発達への影響が懸念される状況でした。

しかし、感染状況が緩和されてきたことで、学校の教育活動も少しずつコロナ以前の状況に戻すことができているのではないかと思います。現在のコロナ感染の状況を見ると、県内でも学年閉鎖や学級閉鎖をしている学校もあり、まだまだ感染防止に努めなくてはならない状況です。それでも、着実に「脱コロナ」は進んでいると思います。

子どもたちのマスク着用状況ですが、まだまだ多くの子どもがマスクを着用しています。前期課程よりも後期課程の子どもたちの着用率が高い状況です。子どもたちの中には、長い期間マスクを着用してきたことで、マスクを外すこと自体に抵抗感や不安を感じている子どももいます。メディア等では、マスク着用による子どもの心身の発達への影響等も報じられています。人の表情はその人の大切な個性の一つです。自分の個性を閉じ込めるのではなく、安心して自分を表現できるようになってほしいし、周りもそれを受け止め、認めることができるようになってほしいです。

今年度から成績2期制をスタート

多久市内3つの義務教育学校で、今年度から成績2期制をスタートさせます。

昨年度までは、通知表を年3回発行していましたが、今年度からは、年2回の発行となります。1年間を上期（4月～9月）と下期（10月～3月）に分け、上期通知表を10月上旬に、下期通知表を3月下旬に発行します。

昨年度までは、子どもたちは、1学期の終業日に通知表を持ち帰っていました。保護者の皆様もそれを楽しみにしておられた方も多かったのではないかと思います。今年は1学期の通知表がありませんので、1学期の子どもたちの生活や学習の状況については、夏季休業中に実施する個人懇談で各担任からお伝えいたします。保護者の皆様からも、お尋ねになりたいことがございましたら、その折に遠慮なくお尋ねください。

平和集会（前期課程）

7月19日(水)に、前期課程の平和集会を行いました。

平和集会は、6年生の総務委員会の子どもたちが中心となって、計画と準備を進めてくれました。平和集会では、委員の子どもたちが準備したプレゼンテーションソフトを使って、戦争と平和について次の内容の発表をしました。①戦争とは ②戦時中の暮らし ③戦争の被害 ④平和な世界に向けて その後は、事前に録音した本の読み聞かせをしました。

発表の内容を聞くと、構成が素晴らしく、伝えたい内容やメッセージもしっかりと吟味されていて、素晴らしいものでした。子どもたちの発表の後に、私から子どもたちに平和についての話をしましたが、私の話よりも子どもたちの発表の方がよかったなと思えるくらいでした。事前の準備や練習は大変だったことだと思いますが、よく頑張ってくれました。

私からは、平和の尊さ、これから先の未来も平和な世の中を残すことの大切さ、自分の身の回りの小さな世界を平和にすること、等について話をしました。私たち日本人の中で、薄れかけている戦争の記憶や平和の尊さを子どもたちに伝えていくことも大切な学校教育の役割です。



表彰たくさん！（後期課程）

昨日、校長室で後期課程の運動部や文化部で入賞した子どもたちの表彰をしました。昨日は、陸上部、野球部、ソフトボール部、美術部の表彰を行いました。陸上部の子どもたちは、一人でたくさんの賞状をもらった子どもたちもいました。それぞれが日々の練習にひたむきに取り組んできた結果、成し得た入賞です。おめでとうございます！！

賞状を受け取る子どもたちの表情は誇らしく自信に満ちていました。見ていて嬉しくなりました。

これからも、目標をもって練習に取り組み、技と体と心を磨き成長してくれることを願います。

